

私たちの住んでいる日本は、雨量が多く、  
急な傾斜が多い等の条件により、  
常に洪水が発生しやすい危険性をもっています。  
各地域では、昔から生命や財産を水害から守るため治水対策が  
行われていますが多くの費用と長い期間が必要とされるので、  
まだまだ水害を根絶するにはいたっておりません。  
そこで、個々の対応で水害を未然に防ぎ、また被害を少なくする

「水防活動」が自分たちの地域を守るうえで重要な  
役割を担っているのです。

# 水防活動は 恐ろしい水害から 安全な暮らしを守ります。



**水防**って何だろう？  
 大雨洪水などが起きたとき、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々がさまざまな形で  
 被害を最小限にいとようと活動することを「水防活動」といいます。  
 水防活動は、みずからの地域をみずからの手で守るといふ基本的な考えをもとに自分自身から行っ  
 ています。

こうして守る  
みんなの地域

# 水防活動にご協力ください。

## 情報の伝達と把握 水防活動を実施する上での情報システム

国土交通大臣もしくは都道府県知事は、指定された洪水予報河川について気象庁長官と共同して洪水予報を行うと共に、水害の発生が予想された場合、速やかに「水防警報」を発令し、各地の水防本部から水防（消防）団、警察署、消防署、電力会社、鉄道会社、報道機関などの関係機関に連絡されます。  
 「水防警報」の段階には、①待機 ②準備 ③出勤 ④解除 があり、その時の状況に応じた対策を行います。



## 水防警報(準備)発令



**水防直進、通信の点検**  
 出勤時に進入、水防直進内の関係村土のう、溝、スコップなどを点検し、通信機等の確認を行い、水防に備えます。



**堤防点検**  
 堤防周辺の関係機関とともに水防本部への報告を行います。



日頃の訓練

日頃から月一の水害に備え、スムーズに水防活動を行える様に、水防訓練を行っています。また、水防の経験のあるリーダーの指導で水防技術の向上、若い世代への伝承のために水防技術講習会が催されています。

## 出勤時

状況に応じて最適な水防工法を実施します。堤防の決壊を未然に防いだり、水害を最小限に食い止めるのが目的です。



**水洩し工法**  
 水の流れが急なとき、堤防の土が崩れやすくなるため、水が流れにくい土のうを埋め込み、水の流れを緩やかにして堤防が崩れるのを防ぎます。



**月の積工法**  
 堤防の裏側に土が崩れやすくなるため、半月形に土のうを積み重ね、水の流れを緩やかにして堤防が崩れるのを防ぎます。



**シート張り工法**  
 水の流れが急なとき、堤防の土が崩れやすくなるため、シートを張り、水の流れを緩やかにして堤防が崩れるのを防ぎます。



**積み土のう工法**  
 堤防の上の土のうを積み重ね、水の流れを緩やかにして堤防が崩れるのを防ぎます。

## 非常時・緊急時

水害の危険が予想される非常時には、みなさんに水防活動への協力をお願いすることがあります。

※水防活動がスムーズに実施できるように、水防活動へのご理解とご協力をお願いします。



**水防活動への協力要請**  
 住居に対する協力要請や土のうの搬入に協力をお願いします。



**緊急通行**  
 緊急時には道路を閉鎖して通行を停止していただくことがあります。



**公用収用**  
 水防活動の推進で、一時的に土地の利用や、物や車を収用させていただきます。



**水防設備**  
 緊急時には、水防設備者に備蓄された水防設備を優先的に利用させていただきます。

※市町村等から避難を呼びかけることもあります。